

## VERATRUM ALBUM／サンカラシ

Verat.は Acute マヤズムのレメディである。社会的な地位を失ってしまったというフィーリングがあり、いかなる手段を用いてもそれをすぐさま回復しなければならず、さもないと自分は終わりだと感じている。一度に何かを得る方法、たとえばギャンブルとか嘘をつくとか詐欺行為とかいった方法を見つけようとする。富や自分の重要性を示すことが Verat.の際だった特徴であり、これを使って“失った社会的地位”を埋め合わせようとする。

社会的な地位というのは人の人生において非常に重要な要素である。なぜなら、それによって安定が確保され、婚姻相手を得ることができ、攻撃から守られるからである。つまり、社会的地位が脅かされるということはこれら三つの要素が危うくなるということである。Bell.には攻撃されることに対する恐怖があり、Stram.には荒野に独り取り残されることに対する恐怖があり、Hyos.にはパートナーから捨てられることに対する脅えがある。こういうわけで、Verat.にはこれら三つのレメディが含まれている。加えてエゴとの関わりが非常に大きい。

私が Verat.をブルーヴィングした時、次の夢を見た。

「私はある年老いた人に雇われていて、その男性はもうすぐにも引退することになっていた。引退することで自分の社会的地位が打撃を受けることを恐れたその男性は、自分がまだ重要な人間であるということを証明するために派手な催しを行いたいと思った。そこで、自分の誕生パーティに大きなフットボールスタジアムを手配し、そこに満員のゲストを招いた。私たち使用人は足に竹馬をつけて背を高くて入場行進し音楽を演奏しなければならなかった。我々のボスであるその男性は我々の後に続いて入場した。」

この夢は Verat.のフィーリングを特徴的に表している。この男性は自分の社会的地位が失われることに反応するかのように行動している。突然に貧乏人になった王様のようなものである。“生き延びたい”ならば嘘をついて裕福さを示さなければならない。お金を浪費して自分を賛美しなければならなくなる。自分に壮大なオーラを作り出す必要があるのである。

このレメディを必要とするケースにおいて、患者本人ではなくその前の世代の誰かが社会的地位を失った場合に患者に Verat.の状態が生じてくるのを目にすることがある。結果的にこの状態が患者の根っことして伝えられてしまうのである。しばしばそのような病歴を追うことができる。

Verat.は宗教的になる場合があるが、そのような時でも通常はなにを見せびらかすという要素が非常に大きくみられるものである：その人の宗教的なものにみられる強い見栄。同じように話の中にも誇張があり何のためらいもなく嘘をつくことができる。ここにも Verat.の社会的地位を回復しようとする欲求がみられるだろう。ある種の派手な説教伝道者に対するレメディになり得ると私は思っている。

私の経験から Verat.は手っ取り早くお金を稼いだり自分の重要性を示すためにどんな手段でもとる事ができる人である。嘘をついたり、名前を変えたり、偽の小切手を発行したり、詐欺的ビジネスを行ったり、でっかいいかさま行為を行ったり、とてつもない財産をみせびらかしたり、といった

事をする。大きなショーを催す宗教や政治やビジネスの指導者は Verat.の状態にあるのかもしれない。たとえ捕まっても、嘘をついたり、自分が癌のような病であるかのようなふりをしてごまかし、欺こうとする。

一方で、Verat.の人は一緒にいて楽しい人である：おしゃべりし、歌い、冗談を言い、陽気である。また、神とつながっているというような愉快的ファンタジーを思い描いたりもする。

### ルブリクス

- Despair, position of , social:社会的地位への絶望。
- Religious:宗教的。
- Delusion, God communication with, he is in:自分は神とつながっているという妄想。
- Delusion, dumb, he is:自分は口がきけないという妄想。
- Busy:忙しい。
- Restless:落ち着かない。
- Industrious:勤勉。
- Cheerful:機嫌がよい。
- Loquacity:多弁。
- Liar:嘘つき。
- Deceitful:騙す。
- Courageous:勇気がある。
- Squanders money:浪費する。
- Extravagance:贅沢、浪費。
- Praying:祈る。
- Shameless:羞恥心がない。

### Kent

- Desires ice:氷を好む。